



「第1回図書委員会ビブリオバトル」の決勝が無事終わりました。バトル（発表者）の皆さんお疲れ様でした。栄えある初代チャンプ本に輝いたのは、Kさんが紹介した『女同士とかありえないでしょと言いきる女の子を、百日間で徹底的に落とす百合のお話』でした。おめでとうございます！ バトラーたちの熱意溢れる発表に、「順位を付けるのが惜しい！」との声も。その声にお応えし、エントリーされた全ての本を紹介します。

※ **決** → 決勝進出 **有** → 蔵書あり

『探偵少女アリサの事件簿』

溝ノロより愛をこめて』

東川篤哉 著/幻冬舎/バトルー S

天才美少女探偵とヘタレ三十男の迷コンビが難事件に挑むユーモア・ミステリー！



『ぼくらの無人島戦争』

宗田理 著/KADOKAWA

バトルー W

タダで太平洋の秘島へ行ったばかりが、島や王国を守るために戦う！



『ぼくらの七日間戦争』

宗田理 著/ポプラ社/バトルー M

ぼくらは河川敷の廃工場に立てこもり、ここを解放区として、大人たちへの“叛乱”を起こした。



『青春ブタ野郎は』

バニーガール先輩の夢を見ない』

鴨志田一 著/KADOKAWA

バトルー I

図書館で捕獲した野生のバニーガールは、高校の先輩にして活動休止中の人気タレントでした——。



『よるのばけもの』

住野よる 著/双葉社/バトルー I

夜になると、僕は化け物になる。寝ていても座っていても立っていても、それは深夜に突然やってくる。



『島はぼくらと』

辻村美月 著/講談社/バトルー O

17歳。卒業までは一緒にいよう。島で唯一の同級生4人の、恋や友情、少しの冒険やミステリー。



『獣の奏者』

上橋菜穂子 著/講談社/バトルー W

決して人に馴れず、また馴らしてもいけない生き物と共に生きる宿命の少女・エリンの、孤高の魂の物語。



『人間失格』

太宰治 著/KADOKAWA

バトルー W

無頼の生活に明け暮れた太宰自身の苦悩を描く内的自叙伝。



『お隣さんが殺し屋さん』

藤崎翔 著/KADOKAWA

バトルー E

302ページから起こることは、決して誰にも言わないでください！



『女同士とかありえないでしょと言いきる女の子を、百日間で徹底的に落とす百合のお話』

みかみてれん 著/SBクリエイティブ
バトルー K

モテ系JK・鞠佳はクールな美少女・絢に落とされるのか、それとも100万円を勝ち逃げか!?



『三角の距離は限りないゼロ』

岬鷲宮 著/KADOKAWA

バトルー T

1人なのに「2人」な君と誰でもない僕の、三角関係恋物語。



* 貸し出し中の本は予約できます *